第76回院内集会

11月の院内集会は、元日本原子力発電株式会社理事の北村俊郎さんに「福島の復興を考える」と題してご講演いただきます。
10月から始まったシリーズ講演「原発事故被災地福島の復興」の二回目です。

北村さんは、海洋性の温順な気候を好んで福島第一原発から７キロの福島県富岡町に新築した家でリタイア生活を送っておられましたが、東日本大震災/原発事故で避難せざるを得なくなり、現在も避難先須賀川市での暮らしです。
原発会社勤務の経験を活かし、原発事故収束事業、被災地の状況、復興行政の問題点などについてご自分のコラム【福島便り】で健筆をふるわれています。「福島の復興」については2012年9月28 日に「私の考える福島の復興 」を。この11月17日の「福島の復興を考える」は、同じタイトルで16回目を数えます。

SVCF事務局長

安藤　博

　　　　　　　　　　　　　＜第76回院内集会＞

日時：11月15日(木曜）11：00-13：00
会場：参議院議員会館一階102号室
講演：「福島の復興を考える」
講演者：北村俊郎さん(元日本原子力発電株式会社理事、福島県須賀川市在住）

講師略歴
１９４４年滋賀県生まれ。６７年、慶應義塾大学経済学部卒業後、日本原子力発電株式会社に入社。東海発電所、敦賀発電所、福井事務所などの現場を経験。理事/社長室長、直営化推進プロジェクト・チームリーダーなどを歴任。労働安全、社員教育、地域対応、人事管理、直営工事などに携わった。その後、日本原子力産業協会に移り海外調査なども行った。
原発事故から間もない2011年10月に『原発推進者の無念　避難所生活で考え直したこと』 ( 平凡社新書)を著している。